

経済学部（経済数理学科・現代経済学科 共通）

2024 年度 AO マルデス入試 一次審査課題

テーマ：外国人観光客と日本経済

以下の図 1 はコロナ禍の前後における訪日外国人数と百貨店免税売上高を、図 2 は主要地域への入国者数を、図 3 は為替レートと訪日外国人消費額の間を、それぞれ図示したものである。図 1～3 から読み取れることを自分の言葉でまとめて書きなさい。

次に、2023 年 1 月以降最近までのインバウンド需要がどのように推移しているかを調べ、関連する図表（グラフ等）を最低 1 つ、レポート用紙 2 枚目のスペースに記入し、それを引用しつつ内容をまとめなさい。その際、どの資料を調べたのか資料の題名・書いた人（省庁・団体など）・書かれた年・出版社またはインターネットの URL 等をレポート用紙 2 枚目の「参考にした書籍等」の欄に書きなさい。

最後に、ここまでの分析を踏まえつつ、日本が外国人観光客を受け入れるうえでどのような問題があるか、論じなさい。また、その問題を解決するためにどのような政策を講じるべきか、あなたのアイデアを述べなさい。

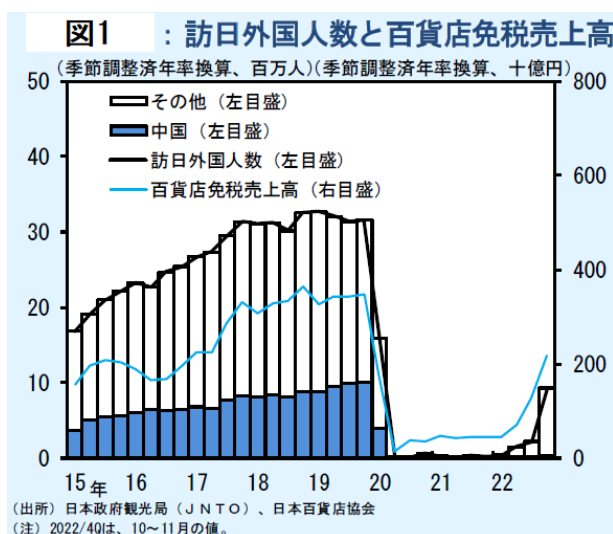
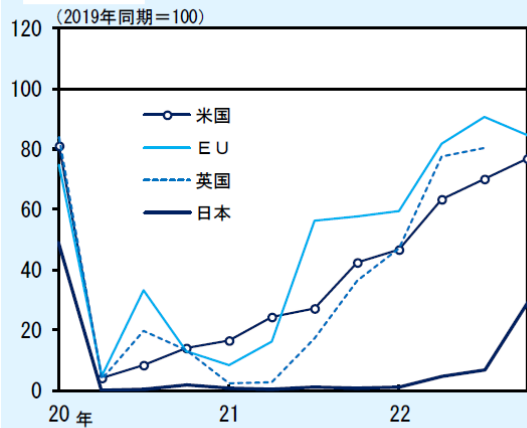
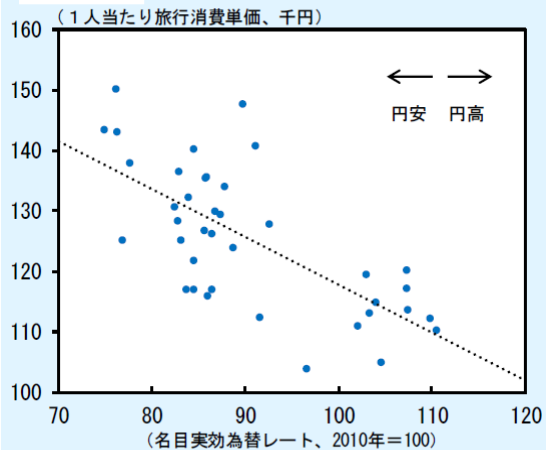


図2 : 主要地域への入国者数



(出所) C E I C、日本政府観光局 (J N T O)
 (注) 米国の2022/4Qは、10月の値。EUおよび日本の2022/4Qは、10~11月の値。
 英国の2022/3Qは、7~8月の値。

図3 : 為替レートと訪日外国人消費額



(名目実効為替レート、2010年=100)
 (出所) B I S、観光庁
 (注) サンプル期間は、2010/2Q~2019/4Q。名目実効為替レートは、ブロードベース。

資料出所 日本銀行『展望レポート』2023年1月版、BOX 1「最近のインバウンド需要」

(<https://www.boj.or.jp/mopo/outlook/box/2301box1a.pdf>)

注：図の番号は引用者が改変している。

経済学部（経済数理学科・現代経済学科 共通）

2024 年度 AO マルデス入試 二次審査課題

成蹊大学 経済学部

2023/10/25

1. 二次審査の内容

二次審査は約 25 分間の個人面接試験（発表・質疑応答審査）です。課題の文献資料を正確に理解・分析し、それをもとに自分自身の考えを表現する力を審査します。審査は次の 3 つの内容で構成されます。

- ① 文献資料の内容と自身の考えをまとめた発表要旨（レジюме）にもとづくプレゼンテーション（最長 10 分間）
- ② プレゼンテーションや文献資料の内容に関する 5～10 分程度の質疑応答
- ③ 志望理由や活動歴などについての 5 分程度の質疑応答

2. 課題となる文献資料

国際決済銀行(BIS)の Annual Economic Report 2022, Chapter I. “Old challenges, new shocks”から、物価高と世界経済の動向を扱った以下の部分。

- 冒頭の“Key takeaways”およびそれに続く部分（1 ページ～2 ページの 9 行目）
- “The year in retrospect, Global growth loses momentum as inflation returns”に続く部分（2 ページ～9 ページの 16 行目、ただし 6 ページ～7 ページの Box A は除く）
- “Stagflation: how high are the risks?”に続く部分、“A new inflation era?”に続く部分、ならびに“The war in Ukraine”に続く部分（12 ページ～15 ページの 16 行目）
- “Rebooting the supply side”に続く部分（28 ページ～30 ページ）

➤ 文献資料は、以下のウェブサイトから閲覧・入手可能です。

<https://www.bis.org/publ/arpdf/ar2022e1.pdf>

➤ 文献資料に登場する専門的な用語の一覧（用語集）が下記 6 にあります。適宜参考にしてください。

3. レジюмеおよび発表について

- 上記 2 の文献資料について、レジюмеを日本語で作成してください。
- レジюмеの作成については「AO マルデス入試要項 2024」の 15 ページ以降をご確認ください。
- プレゼンテーションはレジюмеにもとづいて行います。
上記 2 の文献資料、レジюмеおよびメモやノートを手元に置き、参照しながら発表することが可能です。なお試験中、デジタルデバイス（スマートフォン・パソコン等）の使用は認めません。
- 文献資料は質疑応答審査の際に使いますので、必ず印刷してお持ちください。

4. レジюмеの提出方法について

- 二次審査には、発表用のレジюмеを、必ず 3 部持参してください。3 部の内、1 部は発表時に使用する自分用とし、残りの 2 部を面接担当教員に渡してください。

5. 問い合わせ先

成蹊大学アドミッションセンター 経済学部担当

TEL : 0422-37-3533

Mail : nyushi@jim.seikei.ac.jp

6. 用語集

- ・ 国/地域の略称 (AEs 先進国、EMEs 新興国、US 米国、EA ユーロ圏、JP 日本、CN 中国、RU ロシア)
- ・ backdrop 背景
- ・ loom large 大きく迫る
- ・ disrupt 混乱させる
- ・ pressing 緊急の
- ・ reignite 再点火する
- ・ repercussions 影響
- ・ momentum モメンタム、勢い
- ・ relative prices (他のものと比較した) 相対価格
- ・ policy tightening (物価高を抑えるための) 引き締め的な政策
- ・ resemblance 類似
- ・ stagflation スタグフレーション (インフレーションと景気後退が同時に起きること)
- ・ imperative 責務
- ・ bolster 支える
- ・ accommodative fiscal and monetary policy 緩和的な財政・金融政策
- ・ buoyant 上昇傾向の
- ・ terms of trade 交易条件 (輸出財の価格を輸入財の価格で割った値)
- ・ soar 急上昇する
- ・ central bank targets 中央銀行の物価目標 (多くの先進国では2%の物価上昇率を目標とする)
- ・ flare-up 突発
- ・ confluence 重なり、複合
- ・ pave the way 地ならしする
- ・ bounce back 立ち直る、回復する
- ・ year-on-year (yoy) 前年同期比の
- ・ core goods 食料品・エネルギーを除いた財
- ・ nominal GDP 名目 GDP (物価変動の影響を含んだ国内総生産)
- ・ real output 実質産出量 (物価変動の影響を除いた生産)
- ・ furlough 一時帰休
- ・ rotation 回転
- ・ aggregate demand 総需要
- ・ spare capacity 予備容量
- ・ semiconductor 半導体
- ・ policy rate 政策金利
- ・ subdued 抑制された

- forward guidance フォワード・ガイダンス（政策の先行きに対する見通し）
- the Federal Reserve 連邦準備（米国の中央銀行）
- federal funds rate フェデラル・ファンド・レート（米国の政策金利）
- basis point ベーシス・ポイント（パーセント・ポイントの 100 分の 1）
- interest rate 利子率、金利
- ECB 欧州中央銀行
- ex post 事後的な
- fiscal consolidation 財政再建
- entrenchment 確立（定着）していること
- imprint 痕跡
- inflation expectation インフレ予想
- jurisdiction 区域
- indexation 物価スライド
- consumption basket 消費バスケット（消費される様々な財・サービスの構成比のこと）
- reboot 再起動する

以上